

葉が大きく美しい葉重タイプで高収量&極良作業性。
 ベト病R1~11・13・15・16抵抗性。10月上~12月下旬



一代交配

わかたか鷹

NSP-107A

ほうれん草

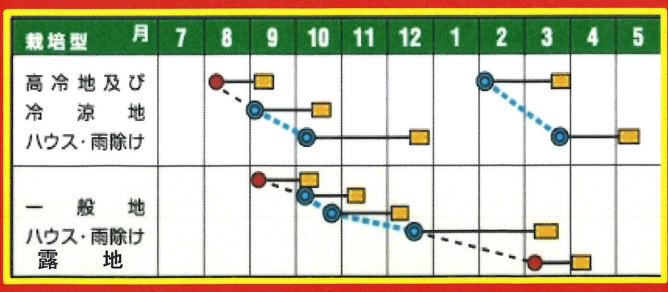
葉が大きい
 葉重タイプで
 高収量&作業性

大葉で葉身部が大きく、高収量！
 極良作業性の10~12月蒔き

～特性～

- ①最適期はハウス、露地作の10月~12月蒔き、11月中旬~3月上旬収穫。生育早さはやや早め。最短生育日数は30~32日程度。「スタンドアップ」より生育がやや早いため、同時期播種で併用し、収穫の分散が可能。
- ②葉は濃緑色。「スタンドアップ」ほど葉色は濃くないが、肉厚でテリのある美しい葉質。葉先あまり尖らない。草姿は極立性で葉柄折れにくく、収穫調整は非常に容易。
- ③葉幅やや広く、葉身部が大きいため、葉柄との長さバランスが良い。葉肉も厚く、

ベト病抵抗性
 R1~11・13・15・16
 低温伸長性(4)
 ★★★★★☆



一代交配

NSP-107_A

若鷹

わかたか

べト病抵抗性

R1 ~ 11・13・15・1

低温伸長性(4)



播種巾広い10月～12月蒔き。

ハウスでも露地でも高収量 & 極良作業性。

葉幅広く、葉身部が大きいいため、
葉軸との長さバランスが良い。だから、高収量！



葉が大きく、葉身部と
葉軸のバランス◎

左写真) ナント種苗宇陀
農場(奈良県)ハウス栽
培にて10/3播種された
同品種→11/19収穫

ハウスでも、露地でも。秋蒔きでも冬蒔きでも。



左写真) 奈良県ハウス栽
培にて11/27播種された
「若鷹」→2/20すぎ収穫



中央) 福岡県露地栽培にて
10/15播種された同品種
→12/15より収穫



右写真) 茨城県ハウス栽培
にて10/7播種された同品
種→11/12より収穫

～栽培のポイント～

- ① 株重・収量を上げるため、10月前半蒔き
は「薄蒔き」とし、じっくり生育させ、
株張りを促す。
- ② 「スタンドアップ」よりやや生育早い
ため

- ★立性度: スタンドアップ > 若鷹 ≧ ブロースト
- ★作業性: 若鷹 ≧ スタンドアップ ≧ ブロースト
- ★収量性: 若鷹 ≧ ブロースト ≧ スタンドアップ
- ★葉色濃さ: スタンドアップ > ブロースト ≧ 若鷹
- ★低温伸長性: 若鷹 ≧ スタンドアップ > ブロースト
(厳寒期の伸び) ややゆっくり ゆっくり 止まる

「若鷹」と「スタンドアップ」の
同時播種での草姿・仕上がり比較。



写真) 福岡県露地栽培にて10/25播種された「スタン
ドアップ」と「若鷹」を2019年1/18に収穫。
「スタンドアップ」に比べ、「若鷹」は若干生育が
早いため、収穫時期を前に分散することができる。